

教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

【2026年度以降入学生対象】

工学部

カリキュラムは、共通教育と専門教育に分類でき、共通教育では基盤系科目、教養系科目および専門基礎系科目から構成される。専門教育は、学部共通科目、エンジニアリング科目、数理データサイエンス科目、コース科目により構成され、徐々に専門性を増すように体系化されている。それぞれについては以下の通りである。なお、授業においては、学位授与の方針に基づき設定した授業目標への到達度で成績評価する。

【評価方法】

- ・講義科目においては、理解度を見る筆記試験やレポート、参加度により、授業達成目標への到達度を判定する。
 - ・演習、実験、実習、実技科目においては、試験やレポートに加え、参加度や発表内容、実技等を通して、授業達成目標への到達度を判定する。
 - ・授業達成目標への到達度は、可能な限り複数の評価手段によって判定する。
- 共通教育では、まず、初年次教育として基盤系科目で大学生として自ら学ぶ姿勢を養成するとともに、教養系科目と専門基礎系科目を通して幅広い人文・社会科学の教養、国際的なコミュニケーション能力並びに工学系の基礎的知識や初歩的専門知識を身につける教育を行う。
- 専門科目は、学部共通科目、エンジニアリング科目、数理データサイエンス科目、コース科目からなり、順に専門性が増す形で構造化している。学部共通科目では、技術者としての倫理観、さらには先端技術開発の基礎や考え方を育成する教育を行う。エンジニアリング科目では、工学の幅広い基礎知識を身につけ、工学的な課題についてはどんなことでも、その解決に向け、目星が付けられる能力を養う。数理データサイエンス科目では、DS・DE基礎およびAI基礎を養う。コース科目では、自分の専門分野で自信を持って仕事の出来る能力を養う。
- 最終年次は、それぞれの専門知識をさらに深め、境界領域の融合研究を含めた先端的な研究に触れつつ、研究の方法を学ぶとともに、自由な発想と柔軟な創造力を養う教育を行う。また、自分の研究を他者に対して筋道を付けて分かり易く説明するプレゼンテーション能力を養う。